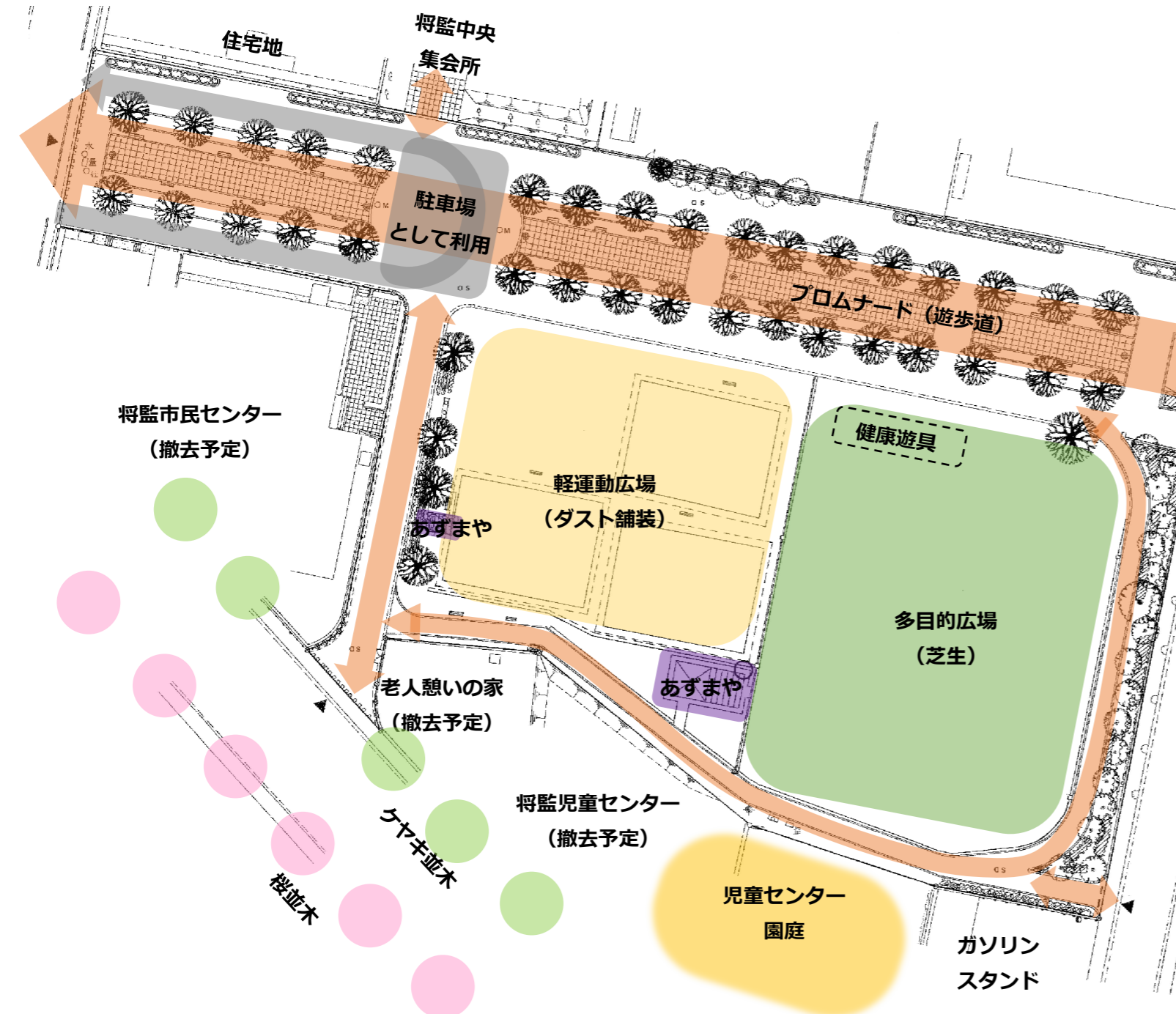


6. 現況公園の敷地分析 - (1) 現況のゾーニング



【現況公園のゾーニングの特徴】

① かつて公設市場への動線だったプロムナード

・現況の将監ふれあい公園の最大の特徴は、東西方向に設けられた広幅員のプロムナード（遊歩道）です。このプロムナードはかつて住宅地と公設市場（公園の西側に立地）を結ぶ動線として設けられたものと考えられますが、公設市場になった現在はその役目を失い、プロムナードの一部は駐車場となって動線は分断されています。

② 広場は軽スポーツ広場と芝生広場の2つで構成

・公園の広場部分は、西側がダスト（土）舗装の軽運動広場、東側が芝生の多目的広場として使い分けされています。

③ 児童センター園庭との一体利用

・児童センターの園庭とは柵などの仕切りもなく、将監ふれあい公園と一体的に利用されています。

【公園の再整備を検討するうえで留意すべき課題】

① 将監風致公園との関係性

・これまでの公園は市民センターや児童センター等で将監風致公園（将監沼）とは隔てられていましたが、市民センター・老人憩いの家・児童センターが複合センターに集約されることに伴い、将監ふれあい公園と将監風致公園は道路を挟んで面することになります。

・そのため将監風致公園との関係性に留意した再整備計画が必要となります。

② 周辺土地利用との関係性

・公園の北西側は戸建て住宅に面しており、騒音や視線などへの配慮が求められます。そのほか、将監中央集会所へのアクセス動線を確保することが必要です。

③ 残されたプロムナードの扱い

・現況のプロムナードのうち東側半分は、複合センターの整備によって撤去されます。また現況でもすでにプロムナードとしての役割は無くなくなり、一部は駐車場に転用されています。さらに、プロムナードを形成するケヤキ並木は生育不良の傾向がみられます。

・そのため、残されたプロムナード（ケヤキ並木）も再整備に伴い撤去することを視野に入れて検討します。

④ 現況公園のレガシー（遺産）の扱い

・現況公園に残る藤棚や、樹木のうち生育状態が良好なもの、老人憩いの家の庭園、そのほか活用可能な施設等について、現況公園のレガシー（遺産）として現地保存や移植・移設などによる活用策を検討します。



プロムナードの現況



藤棚



東側の道路からの眺め

(2) 利用実態調査の結果まとめ

将監ふれあい公園利用実態調査結果（平日）

調査実施日：令和2年10月21日（水）

○行為別・時間帯別の利用者数

①散歩・ウォーキング（犬の散歩含む）	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児（6歳以下）				7				7
小学校下級生（7～9歳）								0
小学校上級生（10～12歳）								0
中・高校生（13～18歳）		1						1
大人（19～64歳）	2	4	7	2	10	2		27
高齢者（65歳以上）	7	2	11	1	5			27
合計	10	6	25	1	3	15	2	62

②運動（ランニング・体操等）	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児（6歳以下）								0
小学校下級生（7～9歳）								0
小学校上級生（10～12歳）								0
中・高校生（13～18歳）								0
大人（19～64歳）							1	1
高齢者（65歳以上）	18		1		1			21
合計	18	0	1	0	1	0	1	22

③通行	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児（6歳以下）		2						2
小学校下級生（7～9歳）						2		2
小学校上級生（10～12歳）								0
中・高校生（13～18歳）								0
大人（19～64歳）		1						1
高齢者（65歳以上）		7	5	6	7	7		32
合計	0	10	0	9	10	19	7	55

④休息	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児（6歳以下）								0
小学校下級生（7～9歳）								0
小学校上級生（10～12歳）								0
中・高校生（13～18歳）								0
大人（19～64歳）		1						1
高齢者（65歳以上）						1		1
合計	0	1	0	0	0	1	0	2

⑤ボール遊び	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児（6歳以下）								0
小学校下級生（7～9歳）								0
小学校上級生（10～12歳）		1						2
中・高校生（13～18歳）						9		9
大人（19～64歳）		1						2
高齢者（65歳以上）								0
合計	2	0	0	0	0	11	0	13

⑥その他遊び	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児（6歳以下）								3
小学校下級生（7～9歳）						24		24
小学校上級生（10～12歳）								0
中・高校生（13～18歳）						4		4
大人（19～64歳）						1		1
高齢者（65歳以上）								0
合計	0	0	0	0	0	32	0	32

⑦健康遊具の利用	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児（6歳以下）								0
小学校下級生（7～9歳）								0
小学校上級生（10～12歳）								0
中・高校生（13～18歳）								0
大人（19～64歳）								0
高齢者（65歳以上）			1		1	1		3
合計	0	0	1	0	1	1	0	3

⑧自転車の利用	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児（6歳以下）								0
小学校下級生（7～9歳）								0
小学校上級生（10～12歳）								0
中・高校生（13～18歳）			3			3		6
大人（19～64歳）			1					1
高齢者（65歳以上）								0
合計	0	4	0	0	0	3	0	7

⑨その他	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児（6歳以下）								0
小学校下級生（7～9歳）								0
小学校上級生（10～12歳）								0
中・高校生（13～18歳）								0
大人（19～64歳）								0
高齢者（65歳以上）								0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

総計	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
総計	31	21	27	10	15	82	10	196



◇当日の気象データ

時	気温(℃)	降水量(mm)
6時	9.7	0.0
7時	10	0.0
8時	12.2	0.0
9時	13.6	0.0
10時	15.6	0.0
11時	18.3	0.0
12時	17.5	0.0
13時	17.1	0.0
14時	17.2	0.0
15時	16.8	0.0
16時	16.6	0.0
17時	15.7	0.0
18時	14.7	0.0

※アメタスデータ（仙台）より

平日の公園利用ピークは16時ころ

- ①：散歩・ウォーキング（犬の散歩含む） ②：運動（ランニング、体操等） ③：通行 ④：休息 ⑤：ボール遊び ⑥：その他遊び
⑦：健康遊具の利用 ⑧：パタカゲトボール等の競技 ⑨：公園管理（除草、清掃等） ⑩：自転車の利用 ⑪：その他

将監ふれあい公園利用実態調査結果 (休日)

調査実施日：令和2年10月25日(日)

○行為別・時間帯別の利用者数

①散歩・ウォーキング (犬の散歩含む)	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児				2		4		6
小学校下級生			1		3			4
小学校上級生								0
中・高校生								0
大人	2	1	1	2		8	2	16
高齢者	3		7	3				13
合計	5	1	8	8	0	15	2	39

②運動 (ランニング・体操等)	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児								0
小学校下級生		1				1		2
小学校上級生								0
中・高校生								0
大人		3				2	1	6
高齢者	15		1					16
合計	15	4	1	0	0	3	1	24

③通行	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児			1					1
小学校下級生				1				1
小学校上級生			3					3
中・高校生								0
大人		2	3	3	7	3	3	21
高齢者	1	4	4	7	5	4	21	47
合計	1	5	8	4	14	8	7	47

④休息	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児								0
小学校下級生								0
小学校上級生								0
中・高校生				4				4
大人				1			1	2
高齢者						1		1
合計	0	0	0	5	0	1	1	7

⑤ボール遊び	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児			1					1
小学校下級生				1	1			2
小学校上級生								0
中・高校生		4						4
大人				1	1	1		3
高齢者								0
合計	0	4	2	2	2	0	0	10

⑥その他遊び	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児			1		3			4
小学校下級生			1	3	7			11
小学校上級生								0
中・高校生				4				4
大人		1	3	6				10
高齢者								0
合計	0	2	11	0	16	0	0	29

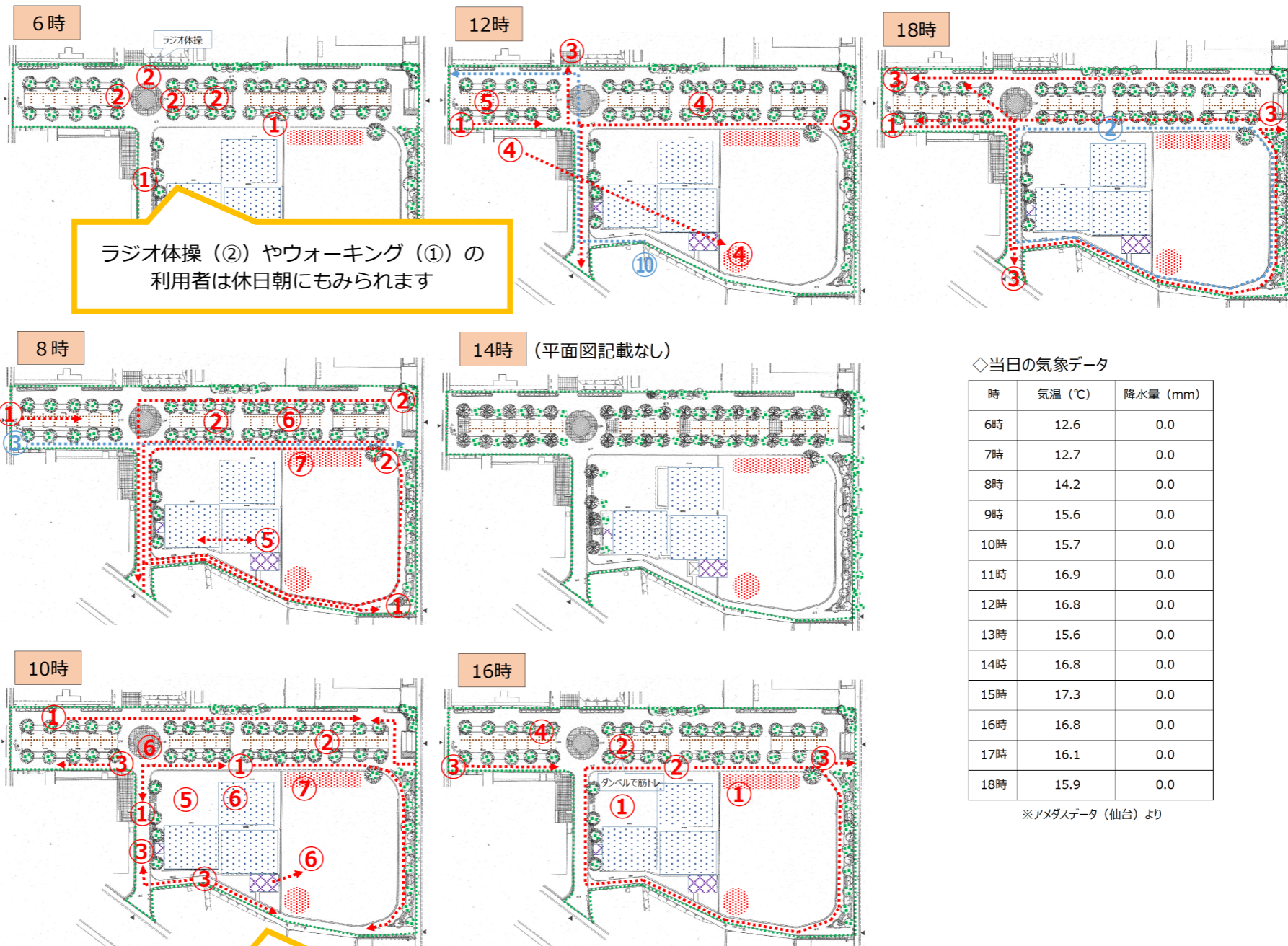
⑦健康遊具の利用	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児			1					1
小学校下級生		2		1				3
小学校上級生								0
中・高校生								0
大人								0
高齢者			2	1				3
合計	0	3	2	2	0	0	0	7

⑩自転車の利用	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児						3		3
小学校下級生				3				3
小学校上級生						2		2
中・高校生								0
大人			1	3	3			7
高齢者								0
合計	0	0	1	6	0	8	0	15

⑪その他	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児								0
小学校下級生								0
小学校上級生								0
中・高校生								0
大人								0
高齢者								0
合計	1							2

総計	6時	8時	10時	12時	14時	16時	18時	合計
未就学児								10
小学校下級生								19
小学校上級生								34
中・高校生								27
大人								32
高齢者								35
合計	22	19	34	27	32	35	11	180

休日は平日ほど顕著な公園利用のピークはなく、午前～午後にかけて利用される



ラジオ体操 (②) やウォーキング (①) の利用者は休日朝にもみられます

平日は夕方 (16時ころ) に公園利用のピークがあったのに対して、休日は10時ころから午後にかけて利用者が多くなります。利用実態は小学生の遊び (⑥)、ボール遊び (⑤)、ウォーキング (①) や通行 (③) など。

◇当日の気象データ

時	気温 (℃)	降水量 (mm)
6時	12.6	0.0
7時	12.7	0.0
8時	14.2	0.0
9時	15.6	0.0
10時	15.7	0.0
11時	16.9	0.0
12時	16.8	0.0
13時	15.6	0.0
14時	16.8	0.0
15時	17.3	0.0
16時	16.8	0.0
17時	16.1	0.0
18時	15.9	0.0

※アメダスデータ (仙台) より

- ①：散歩・ウォーキング (犬の散歩含む) ②：運動 (ランニング, 体操等) ③：通行 ④：休息 ⑤：ボール遊び ⑥：その他遊び
- ⑦：健康遊具の利用 ⑧：バドミントン・テニス等の競技 ⑨：公園管理 (除草, 清掃等) ⑩：自転車の利用 ⑪：その他

(3)現況公園で実施されているイベントや活動等の整理

①通年の活動

・体操会やペタンク（主に高齢者）、サッカースクール（主に子ども）、園児お散歩（保育園児）など幅広い世代の通年の活動の場として活躍しています。

②イベント等の地域活動

・将監さくら祭（春）、ラジオ体操・夏祭り（夏）、グラウンドゴルフ大会・将監市民センター祭り（秋）、将監ふれあいコンサート（冬）など年間を通じてイベントや地域活動が行われています。

③公園管理活動

・いざというときの防災訓練や、日常の公園清掃活動なども行われています。



再整備後にもこれらの活動ができる場所が求められます。

将監ふれあい公園での主な年間活動スケジュール表

活動	月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
通年の活動		サッカースクール（週1回・リベルタサッカースクール）																																			
		ペタンク（週3回・将監二丁目町内会・将監ペタンク倶楽部）																																			
		体操会（毎日・ひまわりふれあい体操会）																																			
		園児のお散歩（年2～3回・コスモス将監保育園・パリス将監西保育園）																																			
イベント等の地域活動		将監さくら祭（4月中旬・「将監沼の自然」とふれあいを育む会）●																																			
		ラジオ体操（7月下旬・将監公社子ども会）																																			
		夏祭り（8月上旬・将監学区民体育振興会・将監小学校とうちゃんくらぶ）●																																			
		グラウンドゴルフ大会（9月上旬・将監学区民体育振興会・将監市民センター）																																			
		将監市民センター祭り（9月下旬～10月上旬・将監市民センター）●																																			
公園管理		公園清掃（年数回・将監ふれあい公園愛護協力会）																																			
		防災訓練（年2回・将監ふれあい公園愛護協力会）																																			

→ 将監さくら祭りの様子



→ 夏祭りの様子



→ 将監市民センター祭りの様子



7. 将監ふれあい公園再整備の基本的な考え方

【周辺の公園や複合センターとの役割分担を踏まえた条件整理】

- 豊かな樹林や水辺などの自然環境の機能は隣接する将監風致公園が、本格的な球技（野球・テニスなど）の機能は将監公園が担っています。複合センターにはバスケットボールなどの球技ができる多目的ホールや遊戯室が設けられます。将監ふれあい公園はこれらの周辺の公園・複合センターとの機能連携や役割分担に留意して再整備計画を立案することが求められます。

【公園再整備の目標像（再整備コンセプト）】

- 子どもワークショップでグループごとに提案されたタイトルや検討委員会グループ討議の整備目標に掲げられた言葉から、みなさんが思い描く公園再整備の目標像（再整備コンセプト）を整理します。

【ワークショップやグループ討議の提案で挙げられたキーワードの抽出】

みんな・皆 自然 心地よい ふれあえる (ふれあう) つながる
 環境 世代 未来 やさしい
 地域 安全 楽しい 集う 楽しめる
 ※緑文字=名詞 ピンク文字=形容詞 青文字=動詞

- 「みんな」という言葉には、幼児から高齢者までいろいろな世代の人、という意味と、自分（たち）のもの、という意味が込められています。
- 「つながる」という言葉には、関係性や空間のつながり（地域のコミュニティ醸成や複合センターとの一体的利用）と、時間的なつながり（未来へつなげる）の2つの意味が込められています。
- もともとの公園の名称に込められた「ふれあい」（ふれあう）も、大切に継承したい言葉のひとつです。

【公園再整備の目標像（再整備コンセプト）案】

地域がつながる 未来へつなげる
「みんなの将監ふれあい公園」

【公園再整備の基本方針】

- 将監ふれあい公園再整備の基本方針は、目標像に加えて検討委員会グループ討議の議論や前提条件・現況課題の整理から、以下のように設定します。

【検討委員会グループ討議の「整備における配慮事項」のまとめ】

- バリアフリーの公園づくり
- 夜間も明るく安全安心
- 災害時に役立つ、防災
- 将監沼、複合センターとの一体性

【上位計画から求められること】

- 緑の多機能性を生かした都市空間形成
- 持続可能な都市インフラづくり
- みどりを楽しめる生活空間づくり
- 地域コミュニティを醸成する空間づくり
- 地域による持続可能な管理運営

【公園再整備の基本方針案】（カッコ内はキーワード、黒文字は方針に基づく対応の例示）

方針1 地域コミュニティを醸成する拠点となる（交流・イベント・ふれあい）

- ・地域の多様な世代が交流し、イベントや地域活動が盛んに行われる広場空間を設けます。
- ・多世代間の交流やふれあいが生まれるように意識して空間や施設を配置します。
- ・散策に利用しやすいよう、周遊できる園路や様々な座れる場所・施設を用意します。

方針2 みどりを楽しめる生活空間づくりに資する（環境配慮・グリーンインフラ）

- ・高木・低木や草花をふんだんに取り入れて緑に親しむことができますようにします。
- ・環境にやさしい素材や構造（木材、再生材、自然素材、透水性など）を取り入れます。

方針3 周辺地域資源と一緒に地域の価値を高める（将監沼や複合センターとの連携）

- ・将監沼と一体となった景観を形成するため、公園内にも桜並木を設けます。
- ・複合センターのテラスとしても利用できる空間を設け、センター利用者を公園に誘引します。

方針4 いつでも誰もが安全に利用できる公園とする（バリアフリー・防犯・防災）

- ・公園の基本的な性能として、バリアフリーや防犯に配慮された空間とします。
- ・防災訓練や、いざというときの避難にも対応した公園とします。

方針5 地域の手で育てていく公園とする（地域主体による管理運営）

- ・地域が主体的に公園の管理運営に関わっていけるよう仕組みや体制を取り入れます。
- ・これにより一層地域コミュニティの醸成や地域の魅力・価値の向上に貢献します。

【導入機能の整理】

- 市民ニーズや前提条件、敷地分析の結果から、求められる導入機能を整理します。

<市民ニーズ（小中学生アンケートや住民アンケートより）>

- 小中学生アンケート、住民アンケートのどちらにも共通して求められている以下のような機能（施設ややりたいこと）は少なくとも取り入れる方向で検討します。

両方のアンケートに共通して求められる施設・やりたいこと

- ・ **休憩・憩い**の空間や施設（あずまや、テーブル、ベンチなど）
 - ・ くつろぐ、遊ぶだけでなく**イベント時にも活用できる多目的広場やステージ**
 - ・ **幼児用の遊び**の場（幼児用すべり台・ブランコなど）
 - ・ **児童用の遊び**の場（特に小・中学生は大型の複合遊具のニーズが高い）
 - ・ 体を動かす**運動・健康**の場（鉄棒、うんてい、軽いボール遊びなど）
- ※本格的な球技は将監公園のグラウンドや複合センターの多目的ホールが担うものとし、どの程度のボール遊びまでを将監ふれあい公園で認めるのかは議論が必要です。

<前提条件（周辺都市公園の機能整理からみた将監ふれあい公園の役割）より>

- 周辺の都市公園と将監ふれあい公園との役割分担の観点から以下のことが整理されます。

周辺都市公園の機能整理からみた将監ふれあい公園の役割

- ・一定の広さを有する多目的広場がある公園は多くない
 - ・健康遊具やペタンク・ゲートボール等の軽運動ができる公園も周辺にはない
- ⇒そのため、現況の将監ふれあい公園にある「**多目的広場**」「**健康遊具**」「**スポーツ（ペタンクなど軽運動用のコート）**」は改修後も残すべき公園機能と言える

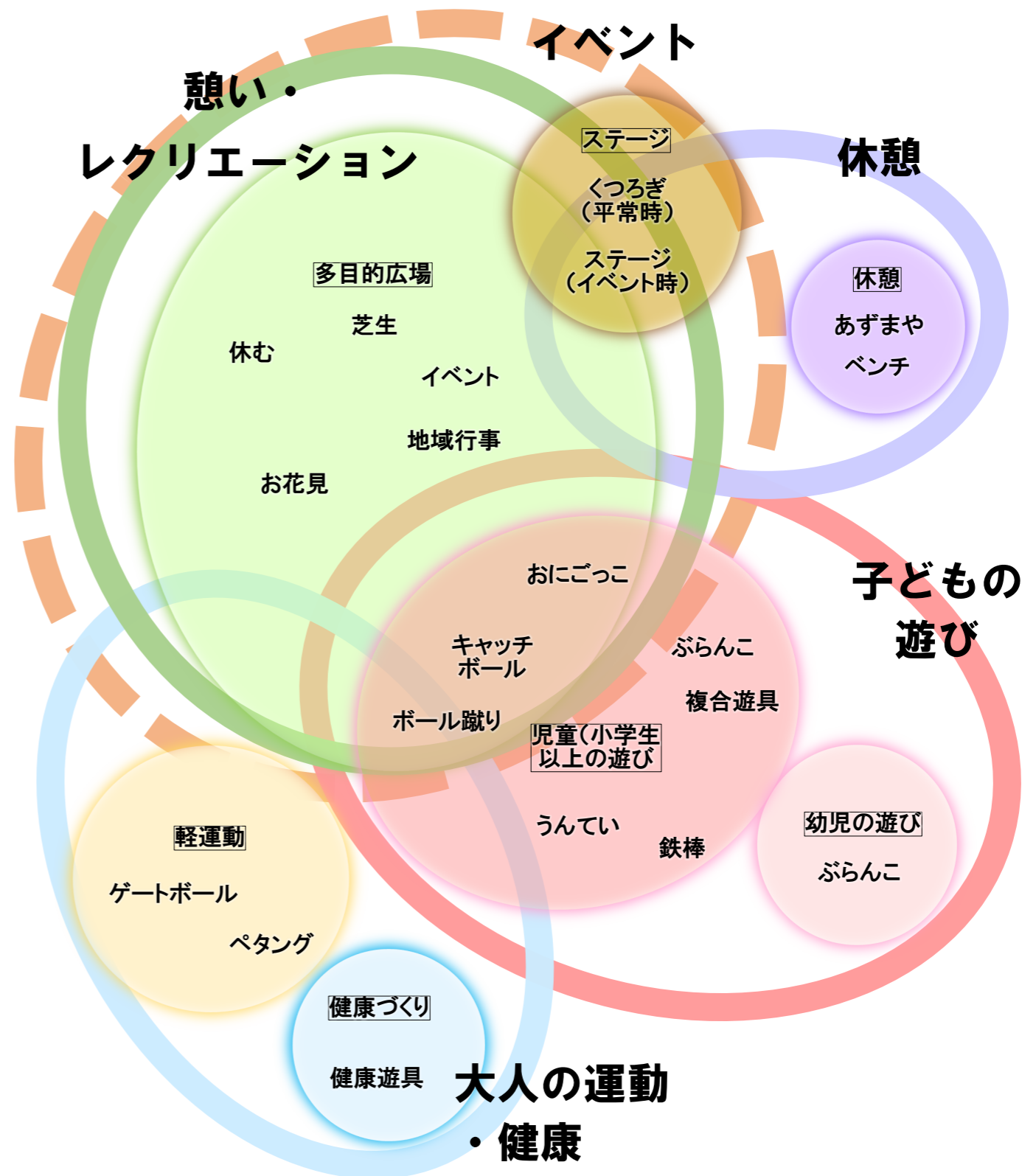
<敷地分析（利用実態調査）より>

- 利用実態調査から、以下のような利用が多くみられることがわかります。

現況公園の利用実態

- ・朝はラジオ体操やウォーキングが多い ⇒ **広場や回遊園路**が求められる
- ・平日夕方や休日日中は子どもの遊具遊びやボール遊びが多い ⇒ **子どもの遊び機能**や**多目的広場**が求められる

【求められる導入機能と、想定される施設や活動の例示】



【ゾーニングの考え方】

- ワークショップで提案された具体的なアイデアや現況ゾーニングを踏まえた課題整理から、ゾーニングの考え方を整理します。

<ワークショップによるご提案より> ※1

- 導入機能をレイアウトしていくうえで、ワークショップで得られた以下のようなご提案を参考に検討していきます。

ワークショップの提案のうち、ゾーニングに活かしていくもの

- ・ 幼児の遊び場は児童センター付近に配置 (A)
- ・ 広場の児童館側に木製ステージを設置 (B)
- ・ 中央に休憩施設を配置してエリアを区分し、西はスポーツ・運動、東は遊具スペース (C)
- ・ ランニング・ウォーキングできる園路 (B・C)
- ・ 児童の遊び場は交番付近 (D)
- ・ 公園の周りに木をたくさん植える、散歩道沿いに草花を植える (E)

<敷地分析（現況ゾーニングを踏まえた課題整理）より>

- 現況のゾーニングを踏まえた課題から以下のようにゾーニングの考え方を整理します。

現況ゾーニングの課題を踏まえた対応策

- ・ 将監風致公園との関係性・・・将監ふれあい公園と将監風致公園は道路を挟んで面することになるため、将監風致公園との一体感や連続性を意識
- ・ 周辺土地利用との関係性・・・住宅地への騒音や視線への配慮、将監中央集会所へのアクセスなど
- ・ 残されたプロムナードの扱い・・・公園の北側に残されたプロムナード（ケヤキ並木）は再整備に伴い撤去することを視野に入れて検討

※1 ワークショップではゾーニングに関する提案以外にも以下のような提案をいただいています。これらは今後施設や空間のデザインを検討していく段階で引き続き参考にします。

- ・ シンボルとなるもの（大木・花時計・音楽が流れる時計・噴水等）(A・B・D)
- ・ 動物の形の遊具や、隠れ家みたいな遊具など (E)
- ・ 自動販売機を設置してその収益を公園管理に活用する (A)
- ・ 花壇を学校などの団体が管理 (D)
- ・ Wi-fi を使えるようにする (C)

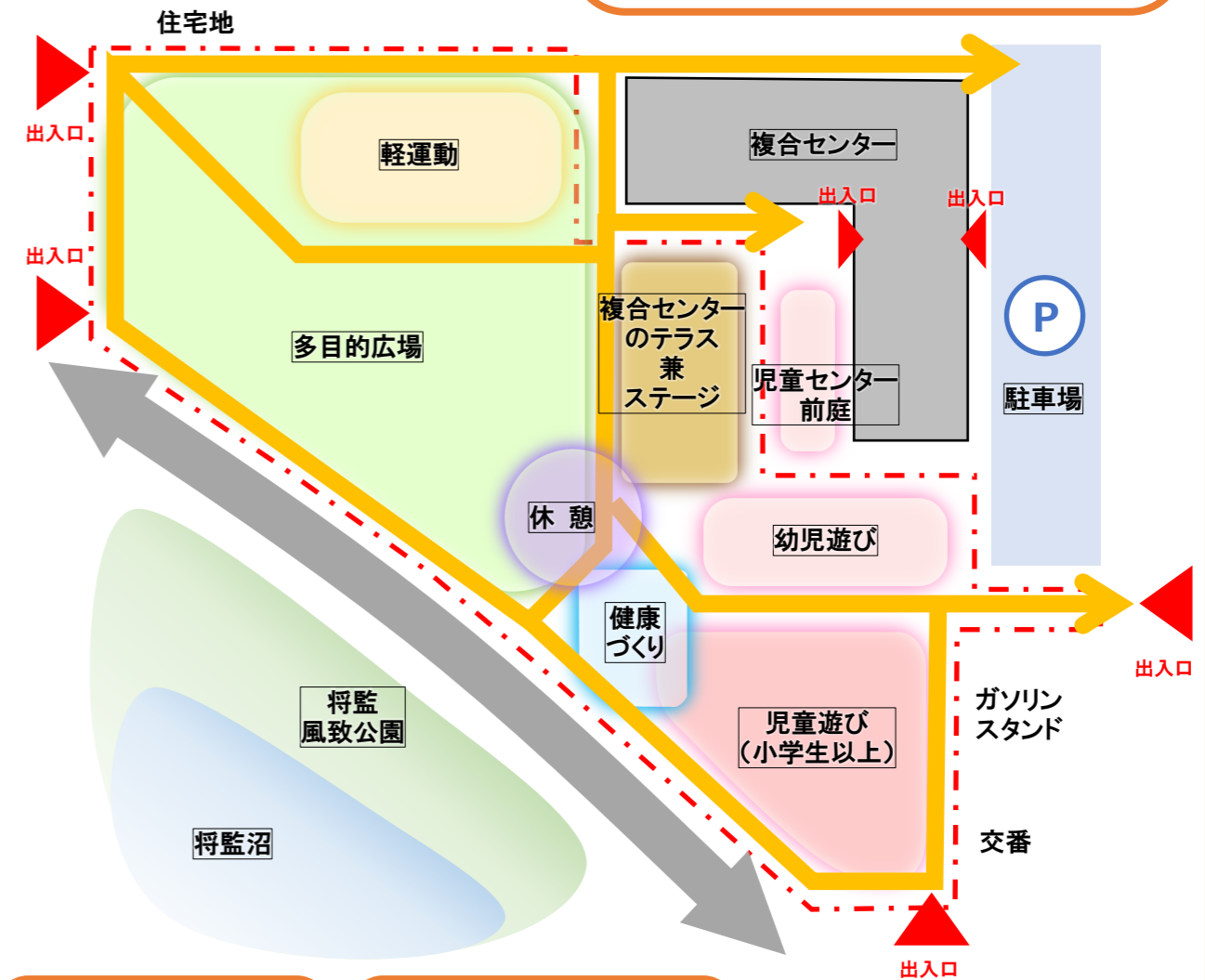
【ゾーニングイメージ】

【ゾーニングの主な考え方①】

公園の西側はスポーツや運動、東側は遊び（遊具）のスペースとします。多目的広場を西側にすることで広い広場が確保できます。

【ゾーニングの主な考え方②】

ステージは複合センターと一体的に利用できるように位置に設けるとともに、イベント時以外にも複合センターのテラス（前庭）として利用できるようにつくりとします。幼児用の遊びゾーンも園庭と一体的に利用できるように位置関係とします。



【ゾーニングの主な考え方③】

中央に南北方向の園路と休憩施設を設けることで、ゆるやかに西と東のゾーニングを区分します。

【ゾーニングの主な考え方④】

児童の遊びは、交番に近い位置とすることと隣接する住宅地から離れた位置にする（子どもの声などへの配慮）ことから南東側の配置とします。

【ゾーニングの主な考え方⑤】

園路は散策などがしやすいよう公園をぐるっと周回できるように設けます。また出入口は現況の出入口の位置を踏襲するとともに、東西南北どの方向からも公園内に入りやすいように設けます。

※ゾーニングのイメージを具体化したものを次のページに記載